

第 33 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（大規模フォーラム）企画概要

1 日時 平成 28 年 11 月 5 日（土）13 時～16 時

2 会場 はまぎんホールヴィアマーレ（横浜市西区みなとみらい 3-1-1）

3 定員 400 名（事前申込）

4 目的

将来にわたり良好な水源環境を維持するために本県が取り組む施策を県民へ広く周知するとともに（今年度策定する『第 3 期かながわ水源環境保全・再生実行 5 か年計画』の紹介も含む）、県民と協働して取組を進めていく気運を醸成することを目的としてフォーラムを開催する。

5 テーマ（キャッチフレーズ） 「ともに築く水源環境 ～かながわ 910 万人の挑戦～」

6 フォーラムのコンセプト

- ・県で取り組んでいる施策の内容やその成果等を紹介し、施策への理解を深めてもらうとともに、参加者へ水源環境を大切にすることの重要性を訴える。
- ・フォーラムを通じて自分たちでも水源環境を守ろうとする自主的な意識の醸成と自ら行動に移すことができるような『きっかけ』となるプログラムを企画する。

7 企画内容（案）

■ プログラム

（1）主催者あいさつ（神奈川県とかながわ県民会議の共催）

- ・神奈川県副知事 浅羽 義里
- ・水源環境保全・再生かながわ県民会議副座長 浅枝 隆

（2）基調講演 [著名人]

森や水の恩恵を受けていることを認識してもらい、その水源環境を守る重要性を理解することのできる内容の基調講演を実施する。

なお、講演者は、①若者も知っている。②講演会の実績から集客力がある。③自然について語る事ができる。著名人からの人選に配慮し、『柳生 博』氏へ依頼。

（3）水源環境保全・再生施策の紹介 [水源環境保全課]

DVD や写真を用いて、県が取り組む施策の概要やこれまでの成果等を説明する。

(4) パネルディスカッション

『ともに築く水源環境 ～かながわ 910 万人の挑戦～』をテーマとして、幅広い分野のパネリストによるディスカッションを行い、参加者へ県の施策への理解促進を図るとともに水源環境を自分たちで守るための意識向上を図る。

≪候補者及び候補分野（予定）≫

[コーディネーター] 浅枝 隆（埼玉大学教授）

[パネリスト] 林業事業者：杉本林業、秦野市森林組合、サトウ草木

[これまでの森林整備に係る取組成果、今後の展望]

民間企業：森林再生パートナー企業

（神奈川県トヨタ自動車、キリン(株)、高梨乳業(株)、鈴廣かまぼこ(株)）

[企業との協働による水源環境保全取組の紹介、今後の展望]

市民事業団体：海の森・山の森事務局、自然保護団体 Bond-Making Action、

丹沢自然学校、小田原山盛の会

[市民事業団体の行う水源環境保全取組の紹介、次世代の普及啓発の大切さなど]

県民会議委員：鈴木 雅一（東京大学名誉教授）

[水源環境保全・再生施策への評価]

■ 展示等 ※会場ロビーで実施

- ・市民事業交流会（活動紹介）
- ・森林再生パートナー企業等の活動紹介
- ・第38回「全日本中学生水の作文コンクール」入賞作品の掲示
- ・水源環境保全・再生施策等の紹介

8 広報（予定）

- (1) 記者発表
- (2) 県のたより（10月号）
- (3) 県ホームページ（議会終了後、10月中旬より県HP（トップページバナー）にも掲載予定）
- (4) 県民の窓（神奈川新聞）
- (5) Facebook、Twitter
- (6) タウンニュース
- (7) チラシの配布、ポスター掲示 等